

政策整理番号	2	施策番号	1	評価シート(B) (施策評価: 施策を構成する事業の評価)			
対象年度	H18	作成部課室	保健福祉部 医療整備課	関係部課室			
政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり			政策番号	1 - 1 - 2		
施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備				
施策概要	病院と診療所の適切な役割分担と連携を図り、身近な病院の機能を充実させるため、地域で中心的な役割を担う7つの「地域の中核的な病院の整備」を進めています。						
政策評価指標 / 達成度	入院患者の自圏域内(二次医療圏内)入院率		A				

達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

### 施策を構成する事業の分析

活動(事業) / 活動(事業) によりもたらされた結果						活動(事業) によりもたらされた成果						
事業番号	事業名 [担当課]	事業の対象 (誰・何を対象として)	事業の手段 (内容) (何をしたのか)	業績指標名 (単位) (事業の活動量、「事業の手段」に対応)	H16	H17	H18	事業の目的 (意図) (対象をどういう状態にしたのか)	成果指標名 (単位) (事業の成果、「事業の目的」に対応)	H16	H17	H18
					業績指標の値					成果指標の値		
					事業費 (決算(見込)額, 千円) 単位当たり事業費(千円)							
1	地域の中核的な病院整備推進事業 [医療整備課]	地域の中核的な病院	病院の移転新築に係る借入金の元利償還金のうち、当該年度の支払いに要した額に対して財政支援をした。	財政支援病院数 (病院)	3	3	4	県民が住んでいる地域内の病院に入院し治療を受けられるよう機能を充実した。	入院患者の自圏域内(二次医療圏内)入院率	-	-	76.7
					413531	415993	541752					
2												
3												
4												
5												
事業費計(千円)					413531	415993	541752					



政策評価指標分析カード(整理番号1)

政策整理番号

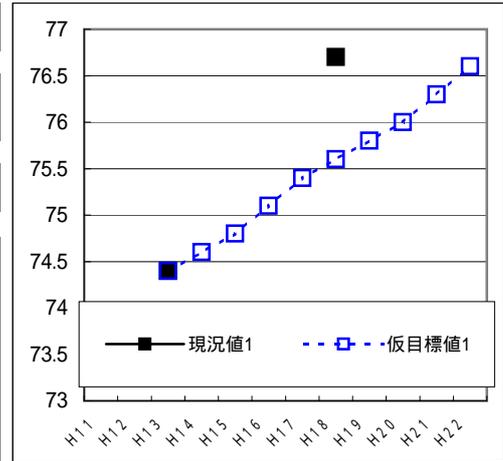
2

施策番号

1

対象年度	H18	作成部課室	保健福祉部 医療整備課	関係部課室	
政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり			政策番号	1 - 1 - 2
施策番号	1	施策名	地域の中核的な病院の整備		

政策評価指標		単位						
入院患者の自圏域内(二次医療圏内)入院率		%						
目標値	H17	75.4	H22	76.6				
評価年	初期値	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
測定年	H13		H13	H14	H15	H16	H17	H18
現況値	74.4		74.4	...	...	...	...	76.7
仮目標値			74.4	74.6	74.8	75.1	75.4	75.6
達成度			...	...	...	...	...	A



達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の概要

県民が自分が住んでいる二次医療圏(県内10医療圏)内の医療機関に入院する割合  
 二次医療圏:通常の入院に係る医療を供給する体制の整備を図るべき地域的単位

政策評価指標の選定理由

- ・病気やけがなどの事態が生じて、より身近な地域で高度な医療が受けられることが望ましい。
- ・病気やけがなどで入院する場合に、より身近な地域の医療機関に受け入れられることにより、本人や家族の負担が軽減できる。
- ・生活の基礎的な安心を提供することが、今住んでいる地域に住み続けることができるための条件である。

達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

- ・達成度:...A
- ・医療の専門化及び患者の意識の変化等により、県民の受療行動は広域化しているものと推測され、単一の医療圏ですべての入院医療を完結することは困難になってきている。
- ・疾患ごとに医療圏を設定し、本事業を実施した病院の機能を明確化するとともに病床利用率の一層の向上、医師確保など基本的な病院運営の効率性を高める必要がある。
- ・特定の医療機関を整備して自圏域内入院率が向上するほど単純な問題ではないが、こと自治体立病院に関しては一市で複数の病院を所有するなど非効率を助長するような状況が現存し、早急な改善が望まれる。
- ・入院率は患者調査に基づき判明するが、今回調査は平成18年度に実施しているが集計中(速報値)である。

政策評価指標の妥当性【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】

- ・乱立している自治体病院への投資を効率的に推進するには、特定の病院に資源を集中することは理にかなっているが、本事業を評価する上で、この指標だけで適切かは検討する必要がある。
- ・利便性と安全性のどちらに重点を置いて整備するべきか検討する必要がある。

